



中学生・高校生との交流会

中学生・高校生が日頃、学校や日常生活の中で考えている事柄や問題について、地域の中学生・高校生・大学生と教育庁職員が意見交換を行いました。

今年度は、「みんなが、行きたくなる学校って、どんな学校?」「みんなにとって部活動ってどんな場所?」「みんなが、幸福で充実した人生を送るために何が必要?」「自分の住んでいる地域のために、何かをしたいと思いますか?」などのテーマについて、生徒が事前学習や司会進行するなど、主体的に参加し、最後には自分たちの意見をまとめ、発表を行いました。

各会場で取り組んだテーマの中学生・高校生からの意見や提案事項は以下のとおりでした。

《提案事項等》

●みんなが、行きたくなる学校って、どんな学校?

- ・個性を認め合える学校(ジェンダーレス、多様性を認め合える学校環境をつくる)
- ・一人一人の居場所がある学校(いじめを相談できる学校)
- ・自立や、社会に出るにあたり必要な力を身に付けられる学校(進路や将来に向けた行事や授業の活性化を図る)
- ・今の時代に合った校則がある学校(校則の説明、目的をはっきりする)
- ・生徒同士が交流しやすい施設がある学校(誰とでも話せる共有スペースを準備する)
- ・楽しい授業、関わりやすい先生がいる学校(生徒が主体的に取り組む授業を実践する先生)

●みんなにとって部活動ってどんな場所?

- ・さまざまな人との出会いの場であり、人間関係やルールを学べる場でもある。
- ・団結力や達成感を得られ、お互いを信頼することの大切さを学べる。

●みんなが、幸福で充実した人生を送るために何が必要?

- ・目標に向かって努力する力・幸せの基準を下げること・お互いが思いやり、支えあう
- ・夢や目標を持つこと・ゆっくりでも自分にとって幸せだと思うことを見つける力

●自分の住んでいる地域のために、何かをしたいと思いますか?

- ・学校と地域のお互いが深く関わりを持っていく。
- ・地域課題の解決に向けて積極的に地域活動に参加する。まずは、できることから考え、始めてみる。

●科学教育を通して地域や社会にどう貢献するか

- ・情報リテラシー教育・情報モラル教育の専門家による講座の充実。

※県教育委員会への提案事項の対応については、今後関係課で検討します。

これまでの中学生・高校生との交流会での生徒からの貴重な意見につきましては、本県の教育振興基本計画の策定に活かしてまいります。

■問い合わせ:教育政策課 ☎043-223-4311